

櫻守の会

2025年6月号

2025年6月1日(通巻313号)
発行: 櫻守の会代表 清水厚真
〒665-0805 宝塚市雲雀丘1-10-38
会員数 90名(5月23日現在)
HP: <https://www.sakuramori.net/>

第26回 「櫻守の会」総会を終えて

代表 清水 厚真

第26回櫻守の会の総会を、5月17日(土)に“ふらざこむ1”的3階フリールームで開催しました。昨年に引き続き土曜日の開催にしましたが、出席者数は25名で昨年より若干少ない人数でした。無事に総会が開催できたことに、改めて感謝を申し上げます。

総会は、13時30分に開始し、議長に山岡氏を選出し審議に入りました。2024年度活動実績及び決算報告並びに監査報告が承認されました。次に、今年度は運営委員の改選期ですが、候補者数が会則の人数に満たない欠員の事態となりました。そのため、会則の改訂として運営委員数の変更の提案をした次第です。次に、5名の運営委員及び会計監査役の選出を提案し、本総会後に協力者が現れたら次期総会を待たずに運営委員を増強することを提案し、議案は承認されました。最後に、2025年度活動計画案及び予算案について提案通りに承認を頂き、15時00分に終了しました。第1部の議案審議及び第2部の自由討議においても、会の活動を継続的により良くするための、提案や質問などで熱心な審議をして頂き、御礼を申し上げます。

今総会で、近藤茂氏の任期満了に伴い代表に選出されました、清水厚真(しみず あつまさ)です。よろしくお願ひします。近藤茂氏は通算6年間にわたり代表を歴任され、その業績は顕著で皆さんご承知の通りです。私は、2020年入会で、まだ新人の部類です。今回、運営委員会は5名での船出となりましたが、伝統ある「櫻守の会」の会員の皆さんへの付託に応えるよう、微力ながら尽くしたいと思います。よろしくお願ひします。

さて総会では、以下の2点についてお話をさせて頂きました。会員数の確保が課題です。活動参加者数が年々減少しています。猛暑、新入会員の減少、仕事を持っている会員の増加、ベテラン会員の体調不良者の増加などの要因から、今後も活動参加者の減少傾向が続くと予想されます。入会促進のPR活動を充実しながら、高齢者対応も重要と考えます。高齢のベテラン層でも、猛暑や高地での活動は体力的負担が大きく、参加し辛くなったりとの意見を聞きます。これに見合った活動内容の導入も検討しなければなりません。

次に、楽しい活動を阻害する事象は、怪我、事故です。活動作業は、危険と隣合わせです。ボランティア活動でも、安全第一の考え方で行動しなければならないと思います。このためには、作業チーム全員で、事前に良く話し合い、危ないことはしない、させない、を心がけたいです。途中で条件が変わったら、一旦作業を中止して、再度検討し意思統一を経て作業の再開をする余裕が必要です。

運営委員会は、新体制でスタートしました。設立時の精神を守りつつ、時代の変化に柔軟に対応して、楽しくしく、実りある里山整備のボランティア活動を発展させていきますので、よろしくお願ひします。なお、本会報の総会報告では、ふらざこむ1の運営についてのお話や、総会を通しての質疑やご意見を詳報していますので、合わせてご覧ください。

***** 目次 *****

P1 序文: 第26回 「櫻守の会」総会を終えて

P2 2025年5月度活動実績表

P2~5 活動報告: 桜の園、青葉台、ゆずり葉の森、山手台、武庫山の森、第5回宝塚温泉まつり

P5~6 お知らせ・案内: 第26回総会報告、運営委員会報告、会員消息

P6~8 櫻守ひろば: 桜は「根張り」ができるエリアに植えよう! 活動地の山の幸: 実山椒、他

P8 活動予定表



こむ1フリールーム 審議の様子

< 2025 年 5 月度 活動実績表 >

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
4月 24 日 (木)	青葉台 15名	曇り	(光が丘路入口～第一丘) ソヨゴ等常緑樹と竹ザサの除伐、枯れ木の除伐	6
			(行者山登山路合流点付近) 陽射しを遮るソヨゴの間伐	5
			(行者山登山路小林堰堤～合流点) シダ、笹の刈り取り、枯れ松の伐採	4
4月 26 日 (土)	ぶらざこむ1 6名	—	総会議案書&5月会報印刷・発送	6
			4月度運営委員会	
4月 26 日 (土)	武庫川河川敷 9名	晴れ	第5回宝塚温泉まつり (丸太切り体験とお絵描き 来訪者:約250名)	9
4月 27 日 (日)	桜の園(亦楽山荘) 20名 (1)	晴れ	(林間広場周辺) 枯れ松伐採、常緑樹伐採	9
			(つつじヶ丘周辺) 枯れ松伐採、常緑樹伐採	7
			(城ヶ丘広場上部) シロバナウンゼンツツジ自生地保全	4(1)
5月 2 日 (金)	桜の園(亦楽山荘) —	雨	雨天中止	
5月 4 日 (日)	武庫山の森 22名	晴れ	(塩谷ルート) コバノミツバツツジ回廊の日当たり改善	12
			(入口広場) ヤマザクラの日当たり改善	10
5月 8 日 (木)	ゆずり葉の森 15名	晴れ	(ドングリの丘) 常緑樹の伐採、枝打ち	5
			(腕白原っぽ) の間伐、クヌギの下枝伐り、ヤマモモの伐採と剪定	4
			(ゆずり葉の森広場、県宝谷平入口部、白瀬川広場入口付近) 草刈り	6
5月 14 日 (水)	桜の園(亦楽山荘) 15名	晴れ	(林間広場～四辻) 常緑樹間伐	6
			(つつじヶ丘周辺) 枯れ松伐採、常緑樹伐採	5
			(モミジの道) 路肩補修、(遠見倉庫周辺) 枯木伐採	4
5月 17 日 (土)	ぶらざこむ1 25名	—	第26回櫻守の会総会	25
5月 18 日 (日)	武庫山の森 14名	晴れ	(入口付近) 草刈り	4
			(入口広場) ヤマザクラの日当たり改善	10
5月 20 日 (火)	山手台 20名	晴れ	(東屋南側斜面など) ケヤキの枯れ枝処理、ソヨゴ・コナラ等の間伐	7
			(北斜面; 桜植樹地) 刈払機による草刈り、オオキンケイギクの除草	7
			(アジサイロード) 常緑樹の間伐	6
延べ参加者数				157

< 活動報告 >

桜の園・亦楽山荘

4/27 (日) 快晴の休日で、ハイカーさん達で賑わっていました。

3班に分かれての作業。1班はつつじが丘での枯れ松伐採、2班は林間広場周辺で枯れ松と常緑樹の伐採、もう1班は体験参加者1名の指導も兼ねて伐採の講習やシロバナウンゼンツツジの観察を行いました。ツツジはちょうど満開を迎えていました。



満開のシロバナウンゼンツツジ



林間広場 : 伐採した枯れ松



つつじが丘 : 枯れ松の伐採

5/14 (水) 前回5/2の活動は雨で中止となりましたが、本日は快晴。気温も上昇し汗みずくの作業となりました。3班に分かれ、1班はつつじが丘からササラ沢に下る園路際での常緑樹の間伐。1班は林間広場から四ツ辻までの園路脇の枯木、常緑樹の間伐。1班はもみじの道の崩れた路肩を杉板、丸太杭を使って補修し、急坂の階段部分にプラ階段を1段追加、脇に土留め柵を丸太を用いて補強しました。 (坂田 記)



つつじが丘～ささら沢：
園路沿いの除伐



林間広場～四辻：枯ソヨゴの伐採



モミジの道：路肩崩れ箇所改修中

青葉台

4/24 (木) 1班は光ヶ丘ルート川岸付近で常緑樹の除伐と竹ザサの刈り取りに次いで、第一丘下辺で枯れソヨゴ数本の伐採と倒木の処理を、1班は行者山登山路合流点付近の日当たりが悪い北側斜面で傾いた中径ソヨゴ数本間伐を、更に1班は同登山路の小林堰堤～合流点間園路脇の笹、シダの刈り取りと中小径の枯れ松数本の伐採を行いました。 (加賀野 記)



光が丘路入口川岸付近の整備



行者山登山路合流点付近北側斜面
ソヨゴ伐採で日当たり大幅改善



行者山登山路園路脇の笹、
シダの刈り取り

ゆずり葉の森

5/8 (木) 鮮やかな新緑の下、1班は活動地入口横の腕白原っぱで、周辺部で増加した松、クヌギ、ヤマモモの間伐と枝打ちを、1班はドングリの丘で密生状態になってきた常緑樹（松、アラカシ、ヒサカキ、ウバメカシ等）の間伐と株刈りを、また1班は白瀬川広場進入路周辺とゆずり葉の森広場～県宝谷平入口部で笹、イネ科草類、イタドリ等の刈り取りを行い、遮られていた日光の縦横の通りを改善しました。但しドングリの丘は密生状態が広範囲なため次回以降も継続が必要です。 (加賀野 記)



腕白原っぱ南西部、
アカマツの間伐と下枝伐り



ドングリの丘、園路脇で
密生状態の常緑樹間伐



県宝谷平入口部で繁茂した
イタドリ等を刈り取り

山手台

5/20 (火) 今日は、集合広場のケヤキの枯れ枝伐採、東屋南側斜面のクヌギ・ソヨゴなどの伐採、アジサイロードでの常緑樹の伐採をしました。暗かった森の木を間引いたことでかなり明るくなりました。また北斜面の桜植樹地では、刈払機 3 台を使って草刈りおよび周囲のオオキンケイギクの除草を行いました。ただし、オオキンケイギクは先月あれだけ除草したにもかかわらず、次々と発芽し小さいものは短期間に生長して怖くなるほどです。

暑い中、皆さん汗をかきながら時間一杯活動していただきご苦労様でした。

(岡 記)



集合広場でケヤキの枯れ枝伐



アジサイロードで道の両側を
明るくするための伐採



北斜面桜植樹地で草刈り

武庫山の森

5/4 (日) カラッと晴れた連休中にも関わらず多くの参加者に恵まれました。日向では汗ばむものの日陰では快適に作業ができました。作業前に FM 宝塚の電話取材を受け、新緑の武庫山の森の様子を伝えました。塩谷ルートのコバノミツバツツジの日当たり改善の仕上げをしました。大きなコナラの枝を落として、園路沿いの常緑樹を処理しました。これで夏の様子をみることにします。入口広場のヤマザクラの日当たり改善をしました。ナナミノキの高木を 2 本倒して処理しました。その他ヤマザクラ周辺の木を間伐しています。

5/18 (日) 入口にある柚子の花が咲き良い香りの中での作業となりました。入口付近の草が一気に成長していたので予定に無かった草刈りを急遽入れました。刈払機で刈ったあと草を集めて入口らしく綺麗に仕上げております。入口広場周辺のヤマザクラの日当たり改善は、ナナミノキの高木を 3 本伐採しました。切るのは全て大鋸で行い、チルホールで引き倒すことでヤマザクラやモミジを巻き沿いにすることなく伐採しております。枝葉処理は全員で取り掛かり、太い幹はチェーンソーも使い処理しました。その他アカメガシリ、ヤマウルシを処理しました。

(横山 記)



コナラの枝切り



入り口付近の草刈り



ナナミノキの伐採

第5回宝塚温泉まつり

日時：4月 26 日（土）11：00～15：00 場所：武庫川河川敷右岸（宝塚南口駅付近）

今年で 4 回目の参加になりますが、今回も丸太切り体験とお絵描きを実施しました。晴天に恵まれ開始直後から終了まで途切れることなく順番待ちもありながら 250 名程度の来訪者がありました。過去にも参加いただいたリピーター、今日だけでも何度も挑戦する子、お絵描きを楽しむ子供たち、切った木（ヤブニッケイ）の香りに喜ぶ親子、真剣な子供の写真を撮る両親。それらをサポートする会員も楽しく子供たちと触れ合うことができました。ご協力いただいた皆様に感謝いたします。

(横山 記)



丸太切り体験-1



丸太切り体験-2



お絵描きをする

＜お知らせ・案内＞

第26回 櫻守の会総会 報告

運営委員会

新三役 代表：清水厚真さん、副代表：瀧本浩一さん、会計：神野徳子さん に決まる

2025年5月17日（土） 13:30～16:20 ぶらざこむ1

1. 総会を定時の 13:30 に開催した。出席者 25 名、議決権行使 28 名、委任状 24 名、合計 77 名で、会員総数 93 名の過半数を超えており、総会の成立を確認した。議長に山岡氏を選出し審議に入った。
2. 第1号議案より第6号議案までの全議案は、議案書の通り可決した。
3. 第4号議案で5名の新運営委員を承認後、新委員の互選により 代表：清水厚真、副代表：瀧本浩一、会計：神野徳子 の3氏を選出したとの報告があり、出席者の承認を得た。
新代表の清水氏より「今回5名の運営委員が選任されたが、業務量に対して人数が足りずに欠員状態にある。よって協力者が現れたら次期総会を待たず運営委員を増強したい」との挨拶があった。
4. 予定時刻の 15:00 に総会を終了した。
5. 「ぶらざこむ1の解散について」 15:25 まで代表清算人の岡本光一氏より、ぶらざこむ1の設立の経緯と財団の理念、社協 zukavo 等への引き渡し後の運営等について説明と、「ぶらざこむ1の利用については原則的従来と同じ様に利用できる」とのお話を頂いた。
6. 総会の第2部として 16:20 まで自由討議を行い、参加した皆さんから下記の様な多くの有用なご意見を頂いた。これらを参考にして今後の会の運営に役立てたい。
 - ・最近大怪我は起こしていないが、危険と隣り合わせで作業をしていることを認識すべきである。それにはチーム内で話し合う事が大切。
 - ・人によりやりたいことが色々異なっており、各人がやりたいことに取り組める仕組みを作ることが必要である。
 - ・現状各活動地とも概ね2～3のグループに分けて活動しているが、参加するメンバーが固定されていて、その結果会員間の交流が少なくなっている感じがする。作業効率は落ちるかも知れないが、時には1チームで作業を行い、会員間のコミュニケーションを図る様にしたらどうか。
 - ・新人は自己の技量でできる同じグループに入る傾向がある。同じチームにいたらスキルアップが難しいので、もっとスキルアップを図ることができる場があっても良い。
 - ・高齢者向けの作業負荷の少ない作業もメニューに入れるべきだ。
 - ・楽しみながら作業して貰えるような仕組みづくりが大切。もう少し遊び心があっても良い。
 - ・樹木の伐採や剪定作業だけでなく、植樹にもっと力を入れた方が良い。植物観察や桜の園の歴史を勉強するなどの機会があっても良い。
 - ・子供・家族が参加できるような機会があつた方が良い。
 - ・まず樹木名を覚えて、切っても良い木／切ってはいけない木 を覚えて欲しい。
 - ・最近の人は注意しない、怒らない人が殆どである。規律を守るため、もっと叱ったりすることも大切である。

運営委員会報告（2025年4月度）

前代表 近藤 茂

2025年4月26日（土） 10:40～11:35 ぶらざこむ1

1. オオキンケイギクの駆除

- ・山手台の北斜面…昨年駆除活動を行ったが、今年も多く繁茂している。花が咲く前の駆除が好ましいので、4月度活動日より駆除作業を取り入れた。花期が近づいており確実な対応が必要。
- ・逆瀬川の上流エリア（白瀬川を含む）…今年の繁茂状況を調査し、それを踏まえて駆除対策として、市の活動に組込んでもらうか又は櫻守の会の活動に組込むかの可能性を検討する。

2. 救急箱内の薬の入替え状況…ゆずり葉の森を残し、他の活動地は完了した。

3. チェーンソーの更新…当会には15年以上前に購入したゼノア G3500 を3台、後継機種 GZ360EZ を3台の計6台を所有している。最近になって山手台のG3500が故障したが、修理部品が調達できなかつたのでGZ360EZに更新した。あと2台の更新が必要である。

会員消息

事務局

入会：鈴木 洋子さん

よろしくお願いします。

退会：高橋 弘志さん、夏目 和久さん、板倉 貞雄さん、赤澤 聰胤さん

長い間ありがとうございました。

＜櫻守ひろば＞

桜は「根張り」ができるエリアに植えよう！

さくら守太郎

桜の園の桜坂上のエドヒガン五姉妹が満開であった4月7日に、赤松植樹地のエドヒガンを見に行つた。赤松植樹地のエドヒガンは、2011年3月8日（東日本大震災の3日前）に、K会員より譲り受けた実生苗15本を赤松休憩所の近くの緩斜面（12m×30m）に植樹したものであり、現在13本残っている。

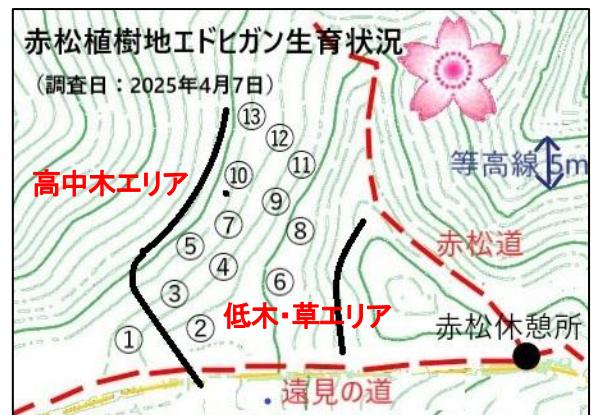
植樹後2018年位までは順調に生育して、全てが太さ10cm×高さ2.5m位になった。日当たりが良い所に植えたので、下の方から枝分かれした良い樹形になった。どんなに立派な桜に生長するのか、とても楽しみにしていた。しかしながら花はなかなか咲かなくて、2020年に①と⑧に初めて花を付けたが、「エドヒガンは長寿の木であるからこんなものだろう！」と思っていた。

その後毎年木の生長及び開花状況を見に行って、そして今年丹念に見て気付いたこと。

- 1) 木の生長：①直径15cm×樹高5mで順調に生育、幹の色もきれいで良好。②～⑬は殆ど大きくなっていない、木肌は老木のように白くなっている。
- 2) 花を付けている木：①と⑧のみ。この5年間で①は花数が500個位に順調に増加しているが、⑧は増えずに数10個のまま。

何故①は成長しているが②～⑬は成長していないのか考察しよう。私は赤松植樹地の植樹に参加していなかったので、植樹した先輩に当時の状況を聞いてみた。

- ・ここを植樹地に選んだ理由：日当たり良好。②～⑬は大きな木が少なく、ツツジなどの低木と草が主体で



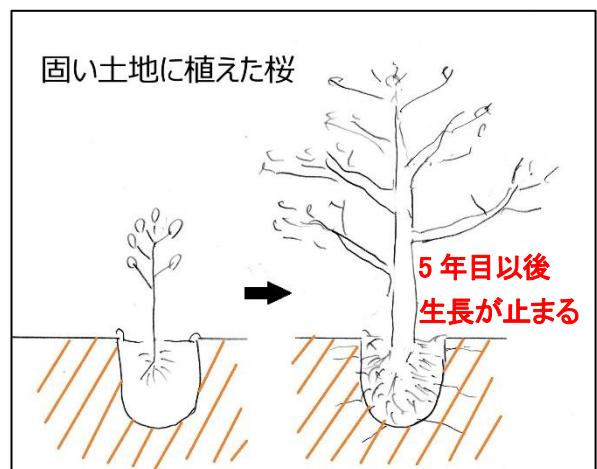
2025.4.7 ①の桜 花数500個 5分咲き

一部は何も生えていなかったので、整地が楽であった。

- ・植樹前の準備：直径 60 cm × 深さ 60 cm 位の穴を掘ったが、土壌が固くて穴を掘るのに難儀した。
- ・①の周囲には高中木が多くあった。

【結論】

- ・園芸用語に「根張り（ねはり）」がある。文字通り植物が根を張ることであり、植物は根から水分や養分を吸い上げるので、生長するには根張りが重要である。
- ・大きく成長した武庫山のヤマザクラ大桜 1~5 号やゆずり葉の森のオオシマザクラは、非常に長くて太い根を張っているのが地表からも見ることができる。桜が大きく成長するには大きく根を張ることが必要である。
- ・固い土地に植えた桜は、穴を掘った軟らかい部分に根を張る期間（5 年間位？）は成長するが、その後は根が伸びないため生長が止まってしまう。（植木鉢の中で育てているようなもの）
- ・植物はその土地に合ったものが育っている。固い土地では根が張ることが少ないため、草もしくはツツジなどの低木は育つが、中高木は根張りができないため育たない。
- ・故に、桜を植樹するとしたら「中高木が育っていたエリア=土が比較的軟らかく水はけが良くて根が成長できるエリア」が良い。草しか生えていない・何も生えていない土地は、桜を植えても数年で枯れてしまうだろう。



活動地の山の幸：実山椒

神野 徳子

武田尾の実山椒も、ブランド山椒に負けず劣らず美味しく食べられます。ただ、収穫時期が難しく、遅れると種が硬くなってしまうので、ご注意を。5月末から6月初めが収穫時期です（果実を割って、種の色が透明から乳白色に変わる時点）。

収穫した山椒は枝から実をはずし、沸騰した湯で茹でて水に放ち（ゆで時間・アク抜き時間は好みで）、ザルにあけ、水分をよくふきます。瓶に入れ、ヒタヒタの醤油を加えると、実山椒の醤油漬けのできあがり。ラップを敷いたトレーに広げ冷凍した後、保存袋に入れるといつでも好きな時に使えます。出汁を取った昆布をある程度の量になるまで冷凍庫にためておき、佃煮にする時に使ったり、以前はイカナゴの釣煮に使ったりしました。

また、洗った実山椒を陰干しし、3~4 日経つと黒い種と皮が外れてくるので種を取り除き、さらにしっかりと乾燥させ、それを挽くと、とても香りのよい粉山椒になるそうです。これは、実行したことがないので、今年はぜひやってみたいと思っています。



桜の園のサイハイラン

さくら守太郎

2023 年 5 月 12 日の桜の園の活動日、アオキが一面に繁っていた斜面を除伐していた時に、見ごろの花を付けていたサイハイランの群落を偶然見つけた。直立した花茎が 30~50cm もあり、3cm 程の薄紫色の花を下向きに多数付けており、戦国時代の大将が「前へ進め！」と振った采配に非常によく似ている。サイハイランと良く名前を付けたものである。毎年 5 月 15 日頃に見ごろになるが、今年は 5 月 14 日でも少しピークを過ぎて色褪せしていた。

ネットで調べてみると、サイハイランは長期栽培や移植が難しい植物として知られているらしい。「採集・移植直後は偽鱗茎に蓄積された養分で順調に発育し、開花もする。しかし新しい偽鱗茎が肥大不良となり、多くの場合は数年で養分の蓄積が枯渇し衰弱枯死する。これは、サイハイランが生育に必要な養分を光合成以外に菌類からも得て生育する部分的菌従属栄養植物 (Partial mycoheterotrophic plant)であるため」と書いてあった。

それでも盗掘する不逞の輩がいるので、この会報ではサイハイラン群落がある場所は秘密とします。知りたい方は、桜の園の幹事さんに場所を聞いてください。



昨年 2024 年 5 月 16 日 丁度見ごろでした

＜活動予定表＞

月別行事予定表

6月		場所等	7月		場所等
6月 1日	日	武庫山の森	7月 3日	木	ゆずり葉の森
6月 6日	金	ゆずり葉の森	7月 6日	日	武庫山の森
6月 11日	水	桜の園（亦楽山荘）	7月 11日	金	桜の園（亦楽山荘）
6月 17日	火	山手台	7月 15日	火	山手台
6月 19日	木	桜の園（亦楽山荘）	7月 17日	木	桜の園（亦楽山荘）
6月 21日	土	武庫山の森	7月 19日	土	武庫山の森
6月 25日	水	青葉台	7月 22日	火	青葉台
6月 28日	土	会報印刷／運営委員会	7月 26日	土	会報印刷／運営委員会
6月 29日	日	桜の園（亦楽山荘）	7月 27日	日	桜の園（亦楽山荘）

集合時間：桜の園（亦楽山荘）親水広場 9 時 50 分、他の 4 活動地は 9 時 30 分。

天候：当日朝 6 時 55 分 NHK TV 天気予報で、兵庫県南部の午前・午後いずれかでも降水確率 60% 以上の時は中止します。

【編集後記】 5 月 20 日の山手台の活動に参加した。天気予報では「最高気温が 29~30°C で初めての真夏日になるかも知れない」と言っていたが、とにかく暑く感じた。私は北斜面で草刈りとクズ根の処理を行っていたが、日陰が全くなく大汗をかいていたら鼻水が始めた（私の熱中症の初期現象）ので、慌てて沢山の水を飲んだ。次回からスポーツ飲料と氷水を持って行こう。（近藤茂 記）